



## GLOSSARY

### 数字

**10GE** 10 ギガビット / 秒イーサネット

### C

**CANA** Cisco Assigned Numbers Authority。 シスコ ソフトウェアに組み込まれた一意の名前および番号を割り当てるための中央の情報ハウス。

**CLI** Command Line Interface

**CNEM** Consistent Network Element Manageability

**CWDM** 低密度波長分割多重

### D

**dBm** デンベル (ミリワット)。  $10 * \log_{10}$  (ミリワットの累乗)。たとえば、2 ミリワットは  $10 * \log_{10}(2) = 10 * 0.3010 = 3.01$  dBm

**DOM** Digital Optical Monitoring

**DS0** デジタル信号レベル 0。64 kbps でデジタル信号を送信するために使用されるフレーミング仕様。24 DS0 は、DS1 に相当します。

**DS1** デジタル信号レベル 1。T1 ファシリティで 1.544 Mbps でデジタル信号を送信するために使用されるフレーミング仕様。

**DS3** デジタル信号レベル 3。T3 ファシリティで 44.736 Mbps でデジタル信号を送信するために使用されるフレーミング仕様。

**DWDM** 高密度波長分割多重

### E

**EHSA** 拡張高システム可用性。

**EMS** 要素管理システム。EMS は、ネットワークの特定の部分を管理します。たとえば、SNMP 管理アプリケーションの SunNet Manager は、SNMP で管理可能な要素を管理するために使用します。要素マネージャは非同期回線、マルチプレクサ、PABX、独自システム、またはアプリケーションを管理できます。

## F

**FRU** 現地交換可能ユニット。Cisco 6400 コンポーネントで使用される用語で、NLC、NSP、NRP、PEM ユニットやブLOWER ファンなど、現地で交換できるコンポーネントです。

## G

**Gb** ギガビット

**GB** ギガバイト

**GBIC** ギガビット インターフェイス コンバータ：小さい (30 mm x 65 mm) ホットプラグ可能なサブエンクロージャに収容された光トランシーバ (トランスミッタとレシーバ)。GBIC は電流 (デジタル ハイおよびデジタル ロー) を光信号に、光信号をデジタル電流に変換します。

**Gbps** ギガビット / 秒

**GBps** ギガバイト / 秒

## H

**HSRP** Hot Standby Routing Protocol (ホットスタンバイルーティングプロトコル)。ルータのグループで、アクティブルータとスタンバイルータを選択するために使用されるプロトコル。(アクティブルータとは、パケット転送用に選択されているルータのことです。スタンバイルータとは、アクティブルータで障害が発生したときや、プリセット条件が満たされたときに、ルーティング処理を引き継ぐルータのことです)。

## I

**IEEE 802.2** データリンク層の LLC サブレイヤの実装を規定している IEEE LAN プロトコル。IEEE 802.2 では、エラー、フレーミングエラー、フロー制御、およびネットワーク層 (レイヤ 3) サービスインターフェイスを処理します。IEEE 802.3 および IEEE 802.5 LAN で使用されます。IEEE 802.3 および IEEE 802.5 も参照してください。

**IEEE 802.3** 物理層およびデータリンク層の MAC サブレイヤの実装を規定している IEEE LAN プロトコル。IEEE 802.3 では CSMA/CD を使用して、各種物理メディアを介してさまざまな速度でアクセスします。IEEE 802.3 の拡張規格では、ファストイーサネットの実装を規定しています。

**IEEE 802.5** 物理層およびデータリンク層の MAC サブレイヤの実装を規定している IEEE LAN プロトコル。IEEE 802.5 は STP ケーブルを介して 4 または 16 Mbps のトークンパッシングアクセスを使用し、IBM トークンリングと類似しています。トークンリングも参照してください。

**IETF** インターネット技術特別調査委員会

**ifIndex** インターフェイス テーブルの各行に **ifIndex** と呼ばれる関連する番号があります。インターフェイスグループオブジェクトの特定のインスタンスを取得するために **ifIndex** 番号を使用します。たとえば、**ifInNUcastPkts.1** では、インターフェイス番号 1 で受信したブロードキャストパケットの数がわかります。インターフェイスの説明 (MIB-II) から **ifDescr** を保持するオブジェクトを調べることによって、インターフェイス番号 1 の説明を検索できます。

<b>Info</b>	差し迫った問題または動作を改善するイベントの通知を引き起こす可能性がある条件に関する通知。
<b>IP アドレス</b>	変数 <code>hostConfigAddr</code> では、デバイスにホスト コンフィギュレーション ファイルを提供したホストの IP アドレスが示されます。
<b>L</b>	
<b>Label</b>	パケットの転送を決定するために使用される短い固定長の ID。
<b>LDP</b>	Label Distribution Protocol。
<b>LR</b>	長距離。
<b>LSP</b>	ラベル スイッチドパス。
<b>LSR</b>	ラベル スイッチング ルータ。各パケット内にカプセル化されている固定長ラベルの値に基づいて MPLS パケットを転送するデバイス。
<b>LX/LH</b>	長波 / 長距離
<b>M</b>	
<b>MIB</b>	管理情報ベース。SNMP などのネットワーク管理プロトコルで使用され、管理されるネットワーク管理情報のデータベース。MIB オブジェクトの値を変更または検索するには、通常はネットワーク管理システムを介して、SNMP コマンドを使用します。MIB オブジェクトはツリー構造であり、ツリーにはパブリック (標準) ブランチとプライベート (独自) ブランチを含みます。
<b>MIB II</b>	MIB II は、元の標準 SNMP MIB である MIB-I の後継です。MIB-II は、MIB-I に必要なほとんどの拡張機能を提供しました。MIB-II は非常に古く、ほとんどは更新されています (更新されていない部分はほとんど使用されていません)。システム関連の情報について説明するオブジェクト、特にシステムのインターフェイスに関連するデータが含まれます。
<b>MPLS</b>	Multiprotocol Label Switching (マルチプロトコル ラベル スイッチング)。MPLS は、ネットワークを通してパケット (フレーム) を転送するための方式です。ネットワークのエッジにあるルータがラベルをパケット (フレーム) に適用できるようにします。ネットワーク コア内の ATM スイッチまたは既存のルータは、最小限のルックアップ オーバーヘッドでラベルに従ってパケットを切り替えることができます。
<b>MPLS インターフェイス</b>	MPLS トラフィックがイネーブルになっているインターフェイス。MPLS は、シスコの元のタグ スイッチング プロポーザルの標準化されたバージョンです。これはラベル転送パラダイム (ラベルに基づくパケット転送) を使用します。
<b>MTU</b>	最大伝送単位。特定のインターフェイスで処理できる最大パケット サイズ (バイト単位)。
<b>N</b>	
<b>NAS</b>	ネットワーク アクセス サーバ。インターネットと回線 (PSTN) の間のインターフェイスとなる AccessPath システムなどのシスコ プラットフォームまたはプラットフォームの集合。

- NHLFE** Next Hop Label Forwarding Entry。
- NMS** ネットワーク管理システム。ネットワークの少なくとも一部分の管理に責任を負うシステム。NMS は、一般的に適度にパワーのある装備の整ったコンピュータで、エンジニアリング ワークステーションなどです。NMS はエージェントと通信して、ネットワーク統計情報やリソースを追跡し続けるのに役立ちます。
- O**
- OID** オブジェクト ID。値は特定の MIB モジュールで定義されます。イベント MIB では、ユーザまたは NMS が指定されたオブジェクトを監視し、存在、しきい値、および Boolean テストに基づいてイベント トリガーを設定できます。トリガーが起動されると、つまり、オブジェクト上の指定されたテストによって true 値が返されると、イベントが発生します。トリガーを作成するには、ユーザまたは NMS がイベント MIB の `mteTriggerTable` にトリガー エントリを設定します。このトリガー エントリでは、監視するオブジェクトの **OID** を指定します。各トリガー エントリ タイプについて、対応するテーブル（存在、しきい値、および Boolean テーブル）に、テストの実行に必要な情報が入力されます。トリガーがアクティブ化（起動）されたときに **SNMP Set** が実行されるか、通知が目的のホストに送信されるか、またはその両方が行われるように **MIB** を設定できます。
- OIR** Online Insertion and Removal（ホット スワップ）。
- OSM** Optical Services Module; オプティカル サービス モジュール
- P**
- PA** ポート アダプタ
- PAP** パスワード認証プロトコル。PPP ピアの相互認証を可能にする認証プロトコル。ローカル ルータに接続を試みているリモート ルータは、認証要求を送信するように要求されます。CHAP と違って、PAP はパスワードとホスト名またはユーザ名をクリア テキスト（暗号化なし）で渡します。PAP それ自体が不正アクセスを防止するわけではなく、リモート エンドを識別します。ルータまたはアクセス サーバがそのユーザのアクセスを許可するかどうかを決定します。PAP は、PPP 回線上でのみサポートされます。
- PEM** 電源入力モジュール。
- POS** Packet Over SONET
- PPP** ポイントツーポイント プロトコル。同期回路および非同期回路上での、ルータ間およびホストとネットワーク間の接続を提供します。PPP は、IP、IPX、ARA などの複数のネットワーク層プロトコルで動作するように設計されています。PPP には、CHAP および PAP などの組み込みのセキュリティ メカニズムもあります。PPP は LCP と NCP の 2 つのプロトコルに依存します。
- Q**
- QoS** QoS (Quality Of Service)。伝送システムのパフォーマンスをもとに、その送信品質とサービスのアベイラビリティを表します。

**R****RADIUS**

Remote Authentication Dial-In User Service (リモート認証ダイヤルイン ユーザ サービス)。RADIUS は、不正なアクセスからネットワークのセキュリティを保護する分散クライアント/サーバシステムです。シスコの実装では RADIUS クライアントは Cisco ルータ上で稼働します。認証要求は、すべてのユーザ認証情報とネットワーク サービス アクセス情報が格納されている中央の RADIUS サーバに送信されます。

**RFC**

Requests for Comments。1969 年に開始された、インターネット (当初は ARPANET) に関する一連の文書です。この文書には、ネットワークング プロトコル、手順、プログラム、および概念を中心にコンピュータ通信に関する多様な側面が記述されていますが、議事録、意見、ときにはジョークが含まれていることもあります。

RFC Editor は RFC の発行元で、文書の最終編集を担当します。RFC Editor は RFC のマスター ファイルである RFC インデックスを維持し、オンラインで検索できます。

Internet Engineering Task Force (IETF) およびその運営グループである Internet Engineering Steering Group (IESG) で定義されたインターネット プロトコル スイートの仕様書は、RFC として発行されます。したがって、RFC の発行プロセスは、インターネット標準化プロセスで重要な役割を果たします。詳細については、次の URL を参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/11\\_0/mib/quick/reference/mtext.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/11_0/mib/quick/reference/mtext.html)

**RMON**

リモート ネットワーク モニタリング MIB は、ネットワークのリモート管理用の SNMP MIB です。RMON は、IETF 標準の多くの SNMP ベース MIB の 1 つです。RMON により、ネットワーク オペレータはネットワーク管理システム (NMS) でネットワークの状態をモニタできます。RMON は、イーサネット コリジョンなどの変数を監視し、変数が指定した時間間隔内にしきい値を超えるとイベントをトリガーします。

**RSVP**

リソース予約プロトコル。IP ネットワーク上でリソースの予約をサポートするためのプロトコル。IP エンドシステム上で動作しているアプリケーションは、RSVP を使用して、受信するパケット ストリームの特性 (帯域幅、ジッター、最大バーストなど) を他のノードに示すことができます。RSVP は IPv4 に依存します。リソース予約設定プロトコルとも呼ばれます。

**S****SEEPROM**

Serial Electrically Erasable Programmable Read Only Memory

**SIP**

SPA インターフェイス プロセッサ。SPA を伝送するラインカード。MSP (モジュラ サービス プロセッサ、共有ポート アダプタのキャリア カードとして機能) とも呼ばれます。

**SNMPv1**

簡易ネットワーク管理プロトコル。RFC 1157 で定義されたインターネット標準です。コミュニティ ストリングに基づいてセキュリティを実現します。SNMPv1 は、コミュニティベースの形式によるセキュリティを使用します。エージェント MIB にアクセスできるマネージャのコミュニティが、IP アドレス アクセス コントロール リストおよびパスワードによって定義されます。

<b>SNMPv2</b>	<p>コミュニティストリングに基づく、SNMPv2 用の管理フレームワークです。SNMPv2c は、SNMPv2p (SNMPv2 クラシック) のプロトコル オペレーションおよびデータ型を更新したものであり、コミュニティベースのセキュリティ モデルである SNMPv1 を使用します。</p> <p>SNMPv2c サポートには、バルク取得メカニズム、および管理ステーションに対するより詳細なエラー メッセージ報告が含まれています。バルク取得メカニズムによって、テーブルおよび大量の情報を取得することがサポートされます。この処理によって、必要となるラウンドトリップ送信数が最小化されます。SNMPv2c ではエラー処理のサポートが改善されました。たとえば、異なる種類のエラー条件が区別されるように、エラー コードが拡張されました。SNMPv1 では、これらの条件は単一のエラー コードを使用して報告されていました。エラー リターン コードでエラー タイプが報告されるようになりました。また、次の 3 種類の例外も報告されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• no such object exceptions (オブジェクト例外が見つかりません)</li> <li>• no such instance exceptions (インスタンス例外が見つかりません)</li> <li>• end of MIB view exceptions (MIB ビューの終わり例外)</li> </ul>
<b>SNMPv3</b>	<p>SNMPv3 : SNMP バージョン 3。SNMPv3 では、次のセキュリティ機能を使用して、デバイスへの安全なアクセスを実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージの完全性 : パケットが伝送中に改ざんされていないことを保証します。</li> <li>• 認証 : 有効な送信元からのメッセージであることを判別します。</li> <li>• 暗号化 : パケットの内容をスクランブル化することにより、不正な送信元に学習されないようにします。</li> </ul>
<b>SNMP エージェント</b>	<p>管理対象デバイス内のソフトウェア コンポーネントであり、デバイスのデータを維持し、必要に応じて、管理システムにそのデータを報告します。エージェントおよび MIB はルーティング デバイス (ルータ、アクセス サーバ、またはスイッチ) 上に常駐します。管理対象デバイス上で SNMP エージェントをイネーブルにする場合は、マネージャとエージェントの間の関係を定義する必要があります。</p>
<b>SNMP マネージャ</b>	<p>SNMP を使用して、ネットワーク ホストのアクティビティを制御およびモニタリングするために使用されるシステム。管理システムとして最も一般的なのは、ネットワーク管理システム (NMS) です。NMS という用語は、ネットワーク管理に使用する専用デバイスを意味する場合と、ネットワーク管理デバイス上で使用するアプリケーションを意味する場合があります。さまざまなネットワーク管理アプリケーションが SNMP とともに使用可能です。簡単なコマンドラインアプリケーションから機能が豊富なグラフィカル ユーザ インターフェイス (CiscoWorks2000 製品ラインなど) まで、このような機能は多岐にわたっています。</p>
<b>SONET</b>	<p>同期光ネットワーク。光ファイバ伝送のための物理層インターフェイス規格。Telcordia Technologies, Inc. が開発し、光ファイバ上で動作するように設計されている高速同期ネットワーク仕様。STS-1 が SONET の基本コンポーネントです。1988 年に、国際標準として承認されました。</p>
<b>SPA</b>	共有ポート アダプタ カード
<b>SR</b>	短距離
<b>SX</b>	短波長
<b>T</b>	
<b>TE</b>	Traffic Engineered

**TLV** Type Length Value。任意の順序でデータを保存する場合の動的形式。アセット情報を保存するためにシスコ製の汎用 ID PROM によって使用されます。

## U

**UBR** 未指定ビットレート。ATM 網に関する ATM フォーラムで定義された QoS クラス。UBR により、指定された最大値までのデータの量をネットワーク経由で送信できますが、セルの損失比率または遅延については保証されません ABR (使用可能ビットレート)、CBR、および VBR と比較されます。

**UDI** Cisco Unique Device Identifier

**UDP** ユーザ データグラム プロトコル。

## V

**VBR** 可変ビットレート。ATM 網に関する ATM フォーラムで定義された QoS クラス。VBR は、リアルタイム (RT) クラスと非リアルタイム (NRT) クラスに再分割されます。VBR (RT) は、サンプル間に固定タイミング関係がある接続に使用されます。VBR (NRT) は、サンプル間に固定タイミング関係はないけれども、保証された QoS を必要とする接続に使用されます。

**VRF** VPN ルーティング / 転送テーブル。

**VTP** VLAN Trunking Protocol; VLAN トランッキング プロトコル

## W

**WFQ** 重み付け均等化キューイング

**Write view** 各グループのビューの名前 (最大 64 文字)。ビュー名は、グループ内の各ユーザが作成または変更できるオブジェクト ID (OID) リストを定義します。

## X

**XENPAK** 10GbE に適合するファイバ トランシーバ モジュール

## Z

**ZX** 延長到達距離 GBIC

## い

**インターネットワー  
ク** 単一のネットワークとして機能する、ルータおよび他のデバイスで相互接続されたネットワークの集合。インターネットと呼ばれることもありますが、いわゆるインターネットとは混同しないください。

- インターフェイス カウンタ** SNMP によるインターフェイス管理は、2 つのテーブル (RFC1213/RFC2233 で説明されている ifTable およびその拡張の ifXTable) に基づいています。メディアの種類によっては、インターフェイスに複数のレイヤを設定できます。各サブレイヤはテーブル内の個々の行によって表されます。上位層と下位層間の関係が ifStackTable に記述されています。
- ifTable は送受信オクテット (ifInOctets/ifOutOctets)、パケット (ifInUcastPkts/ifOutUcastPkts、ifInNUcastPkts/ifOutNUcastPkts)、エラー、および廃棄の 32 ビット カウンタを定義します。
- ifXTable は、高容量 (HC) カウンタとも呼ばれる同様の 64 ビット カウンタ (ifHCInOctets/ifHCOutOctets および ifHCInUcastPkts/ifHCOutUcastPkts) を提供します。
- インフォーム** SNMP マネージャが応答を発行するまでメモリに保存される、信頼性の高いメッセージ。インフォームでは、トラップより多くのシステム リソースを使用します。
- か**
- 書き込み専用** この変数は変数の新しい値の設定にのみ使用できます。たとえば、アクセスが書き込み専用である writeMem 変数は、ルータがリロードされても保存および維持できる不揮発性メモリに現在の (実行中の) ルータ コンフィギュレーションを書き込みます。値を 0 に設定すると、writeMem 変数はコンフィギュレーション メモリを消去します。
- カプセル化** 特定のプロトコル ヘッダーにデータをラップすること。たとえば、イーサネット データは、ネットワークで送信される前に、特定のイーサネット ヘッダーでラップされます。また、異種ネットワークをブリッジングする場合は、一方のネットワークからのフレーム全体が、もう一方のネットワークのデータ リンク層プロトコルで使用されるヘッダーに単純に配置されます。
- カラム オブジェクト** 行を含まない、または複数の行が含まれている MIB テーブルを定義する管理対象オブジェクトの 1 タイプで、各行に 1 つまたは複数のスカラー オブジェクトを含めることができます (たとえば、IF-MIB の ifTable はインターフェイスを定義します)。
- き**
- キープアライブ メッセージ** 1 つのネットワーク デバイスからもう 1 つのネットワーク デバイスに対して、2 つのネットワーク デバイス間の仮想回線がまだアクティブであることを通知するために送信されるメッセージ。
- く**
- クリティカル アラーム重大度タイプ** 重大な、サービスに影響を及ぼす条件が発生し、その即時の修正処置が時刻または曜日に関係なく不可欠であることを示します。たとえば、ラインカードの活性挿抜または物理ポート リンクのダウン時の信号消失障害などがあります。
- こ**
- コミュニティ名** NMS のグループのアクセス環境を定義します。コミュニティ内の NMS は同じ管理ドメイン内にあると考えられます。適切なコミュニティ名を認識しないデバイスが SNMP 操作から排除されるため、コミュニティ名は脆弱な形の認証となります。

## す

**スカラ オブジェクト** 単一のオブジェクト インスタンス (IF-MIB の ifNumber、BGP4-MIB の bgpVersion など) である管理対象オブジェクトの 1 タイプ。

## せ

**整数型** 実際の数となる数値。たとえば、インターフェイス上の失われた IP パケットの数。数値以外を表す数である場合もあります。たとえば、変数 tsLineType は SNMP マネージャに端末サービス ラインのタイプを返します。

**セキュリティ モデル** セキュリティ モデルは、ユーザおよびユーザに属するグループに合わせて設定される認証方式です。セキュリティ レベルとは、セキュリティ モデル内で許可されるセキュリティのレベルです。セキュリティ モデルとセキュリティ レベルの組み合わせにより、SNMP パケット処理中に採用されるセキュリティ メカニズムが決まります。

## そ

**相互運用性** ネットワーク上で正常に相互に通信するようにさまざまなベンダーによって製造されたコンピューティング機器の機能。

## た

**帯域幅** ネットワーク信号に利用可能な最高周波数と最低周波数の差。この用語は、特定のネットワーク メディアまたはプロトコルの格付けされたスルーput 容量を表すためにも使用されます。

**タイム スタンプ** トラップの最後のネットワーク再初期化から生成までに経過した時間を示します。

## て

**転送** インターネットワーキング デバイス経由でフレームを最終宛先に送信するプロセス。

## と

**トラップ** トラップは、非送信請求 (デバイス開始) メッセージです。メッセージの内容は単に情報であることもありますが、ほとんどの場合、リアルタイムのトラップ情報を報告するために使用されます。トラップは UDP データグラムのため、トラップにのみ依存してネットワークの問題を通知すること (つまり、受動的なネットワーク モニタリング) は賢明ではありません。信頼できる障害レポート システムが必要な場合は、トラップ指示型ポーリングや SNMP インフォーム メカニズムと同様に、他の SNMP メカニズムと組み合わせて使用できます。

**トラフィック エンジニアリング トンネル** トラフィック エンジニアリングに使用されるラベル スイッチド トンネル。このようなトンネルは、通常のレイヤ 3 ルーティング以外の方法で設定します。レイヤ 3 ルーティングでトンネルが使用するパス以外のパスでトラフィックを転送するために使用します。

**トンネル** 2つのピア間（ルータ間など）のセキュアな通信パス。

## ひ

**表示文字列** 出力可能な ASCII 文字列。通常は、名前または説明です。たとえば、変数の `netConfigName` はデバイスにネットワーク コンフィギュレーション ファイルの名前を指定します。

## ふ

**フレーム** 伝送メディア上のデータ リンク層の伝送ユニットとして送信される情報の論理的なグループ化。多くの場合、ユニットに含まれるユーザ データを囲むヘッダーとトレーラーのことで、同期やエラー制御に使用されます。セル、データグラム、メッセージ、パケット、セグメントという用語も、OSI 参照モデルのさまざまなレイヤとさまざまなテクノロジー領域で、情報の論理的なグループ化を表すために使用されます。

**ブロードキャスト ストーム** 大量のブロードキャストがすべてのネットワーク セグメントに同時に送信される、望ましくないネットワーク イベント。ブロードキャスト ストームは、大量のネットワーク帯域幅を使用し、通常ネットワークのタイムアウトが発生します。

## ほ

**ポーリング** セカンダリに送信するデータがあるかどうかをプライマリ ネットワーク デバイスが順番に問い合わせるアクセス方式。問い合わせは、各セカンダリに対するメッセージの形式で行われ、これによりセカンダリに送信する権限が与えられます。

## ま

**マイナー アラーム重大度タイプ** お客様のサービスに重大な影響のない問題や、システムの動作に必要な不可欠ではないハードウェアのアラームに使用されます。

## め

**メジャー アラーム重大度タイプ** ハードウェアまたはソフトウェアの状態に使用されます。サービスの深刻な中断または重要なハードウェアの誤動作や障害を示します。システムの安定性を復元または維持するために、技術者の早急な対応、応答が必要です。サービスまたはシステム パフォーマンスに対する影響が低いため、クリティカル状態よりも緊急度が低くなります。たとえば、セカンダリ NSE-100 または NPE-G100 カードで障害が発生するか、または取り外されると、マイナー アラームが生成されます。

## よ

**読み取り専用** この変数は情報をモニタするためだけに使用できます。たとえば、アクセスが読み取り専用である `locIPUnreach` 変数は、到達不能アドレスに関連する Internet Control Message Protocol (ICMP) パケットが送信されるかどうかを示します。

**読み取りと書き込み**

この変数は情報のモニタと変数の新しい値の設定に使用できます。たとえば、アクセスが読み取りと書き込みである `tsMsgSend` 変数は、メッセージが送信されたときに実行するアクションを決定します。

この変数の整数値は次のとおりです。

- 1 = 何もしない
- 2 = リロード
- 3 = メッセージ完了
- 4 = 中断

